

株式会社 JALUX

Financial Results for the Year Ended March 31,2010

2010年3月期 決算説明会

2010年5月10日

I. 2010年3月期 連結決算

II. 事業構造改革と新たな成長に向けた基礎固め - 2010～2011年度への展望 -

本資料についてのご注意

本資料はご参考資料であり、正確な決算数値等は当社決算短信および有価証券報告書・四半期報告書をご参照願います。また、本資料に記載の、業績に関する見通しや計画等には、不確定要因を含んでおります。実際の業績等は、当社の事業を取り巻く経済情勢や社会環境、そして新たな経営計画の策定等、さまざまな要素により、異なる可能性があることをご承知お願います。

2010年3月期 連結決算

取締役 常務執行役員 平井 淳

事業概要(セグメント、チャネル、ターゲット)



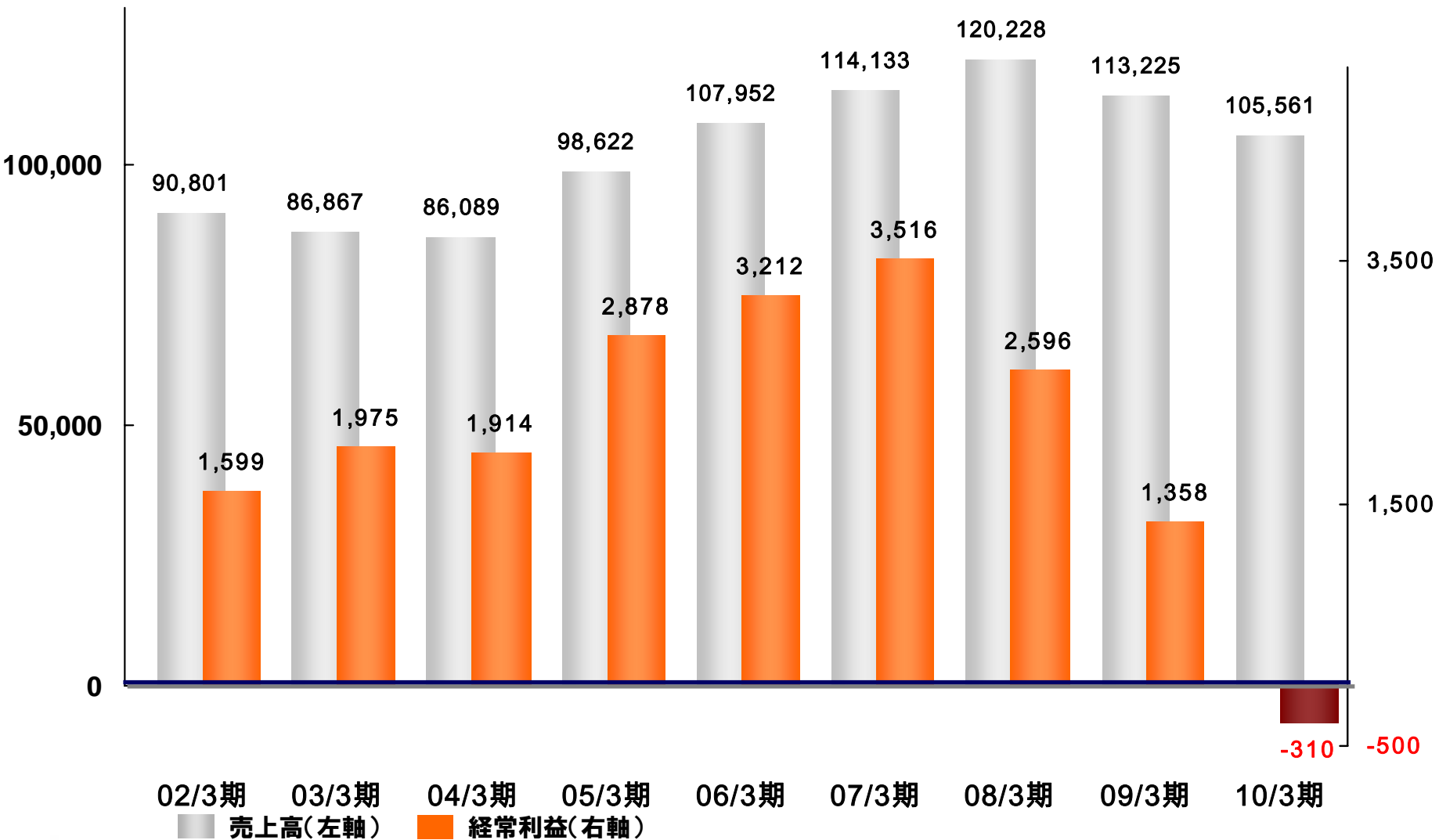
ターゲット

チャネル

セグメント

上場以来の業績推移グラフ

連結年度業績推移 (単位:百万円)



2010年3月期を振り返って

IRトピックス

2009年	4月28日	2009年3月期業績の下方修正 新役員体制の発表 / 愛敬新会長・田島新社長
	9月 9日	エノテカ株式会社との業務提携のお知らせ
	10月29日	2010年3月期業績の下方修正 期末配当予想の修正(20円→10円) 事業構造改革実施の発表
	11月13日	JAL決算発表とADR申請
2010年	1月19日	JAL会社更生法申請と企業再生支援機構による支援決定
	1月25日	希望退職者募集に関するお知らせ
	3月 2日	希望退職者募集結果に関するお知らせ (単体正社員645名のうち160名の削減)
	3月25日	組織変更ならびに執行役員選任に関するお知らせ

JALUX株価の推移<日足>(2009/04/01~2010/03/31)



事業構造改革と特別損益

1 重点事業の強化

航空系商社としての強みを活かした事業展開と収益モデルの変革

- 航空・空港関連ビジネスおよびリテール関連ビジネスに経営資源を集中
- 低採算ビジネスからの撤退縮小

2 企業体質の強化

売上減でも収益が出せる企業体質の確立、抜本的な事業コスト構造の改革

- 組織スリム化、人員規模の適正化、役員の削減
- 保有資産の売却、棚卸在庫の圧縮、事業ポートフォリオの見直し

3 特別損益と来期以降のコスト効果

上記施策の実施により来期以降 1,500百万円/年のコスト削減

- 2010年3月期については△1,500百万円の特別損益を計上
- 来期以降の業績V字回復

2010年3月期 決算概要

(1) 連結決算概要 *Consolidated Financial Summary*

対前期
Compared with the previous period

■ 経営成績 *Income Statements*

単位:百万円 Million yen

	09年3月期 March 2009	10年3月期 March 2010	増減 Balance
売上高 Net Sales	113,225	105,561	△7,664
売上総利益 Gross Profit	22,503	21,752	△751
販売管理費 SG&A	21,902	22,047	+144
営業利益 Operating Income	601	△294	△896
営業外損益 Non-Op. Gains/Losses	757	△15	△772
経常利益 Ordinary Income	1,358	△310	△1,669
特別損益 Extraordinary Gains/Losses	△402	△1,480	△1,077
当期純利益 Net Income	392	△1,263	△1,655
EBITDA*	1,697	848	△849
EPS (円)Yen	30.74	△99.28	△130.02

* EBITDA…営業利益+減価償却費(CF)

2010年3月期 決算概要

対前期

Compared with the previous period

■ 販売管理費の内訳 *Breakdown of SG&A Expenses*

	09年3月期 March 2009	10年3月期 March 2010	増減 Balance
単位:百万円 Million yen			
売上総利益 Gross Profit	22,503	21,752	△751
人件費 Personal expenses	8,620	8,481	△138
賃借料 Rent expenses	4,461	4,292	△168
社外役務費 External service fee	1,373	1,503	+130
減価償却費 Depreciation	752	816	+64
荷造運送費 Packing and transportation expenses	1,080	1,283	+202
その他 Other expenses	5,613	5,669	+55
販売管理費合計 SG&A	21,902	22,047	+144
営業利益 Operating Income	601	△294	△896

2010年3月期 決算概要

■ 財務状態 *Consolidated Balance Sheets*

対 前年度末
Compared with March 31, 2008

	09年3月期 March 2009	10年3月期 March 2010	増 減 Balance
単位:百万円 Million yen			
総資産 Assets	42,899	43,439	+539
自己資本 Shareholders' Equity	14,521	12,608	△1,913
自己資本比率 Equity Ratio (%)	33.9	29.0	△4.9
有利子負債残高 Interest Bearing Debt	8,604	13,985	+5,381
D/Eレシオ(倍) Debt/Equity Ratio (times)	0.6	1.1	+0.5

2010年3月期 決算概要

■ 連結キャッシュ・フロー概要 *Consolidated Summary of Cash Flow*

対 前期
Compared with the previous period

単位:百万円 Million yen	09年3月期 March 2009	10年3月期 March 2010	増 減 Balance
営業キャッシュ・フロー Net Cash from Operating Activities	1,400	△1,170	△2,570
投資キャッシュ・フロー Net Cash from Investing Activities	△3,044	△1,617	+1,427
財務キャッシュ・フロー Net Cash from Financing Activities	1,712	4,824	+3,111
現金及び現金同等物の増減額 Net Increase or Decrease	△83	2,048	+2,132
現金及び現金同等物の期首残高 Cash and Cash Equipment at the end the beginning	6,174	6,091	
現金及び現金同等物の期末残高 Cash and Cash Equipment at the end	6,091	8,139	
減価償却費 Depreciation	1,095	1,143	+47
設備投資額 Capital Expenditures	2,446	1,912	△533

2010年3月期 決算概要

(2)セグメント別実績

Results by Segment

対前期

Compared with the previous period

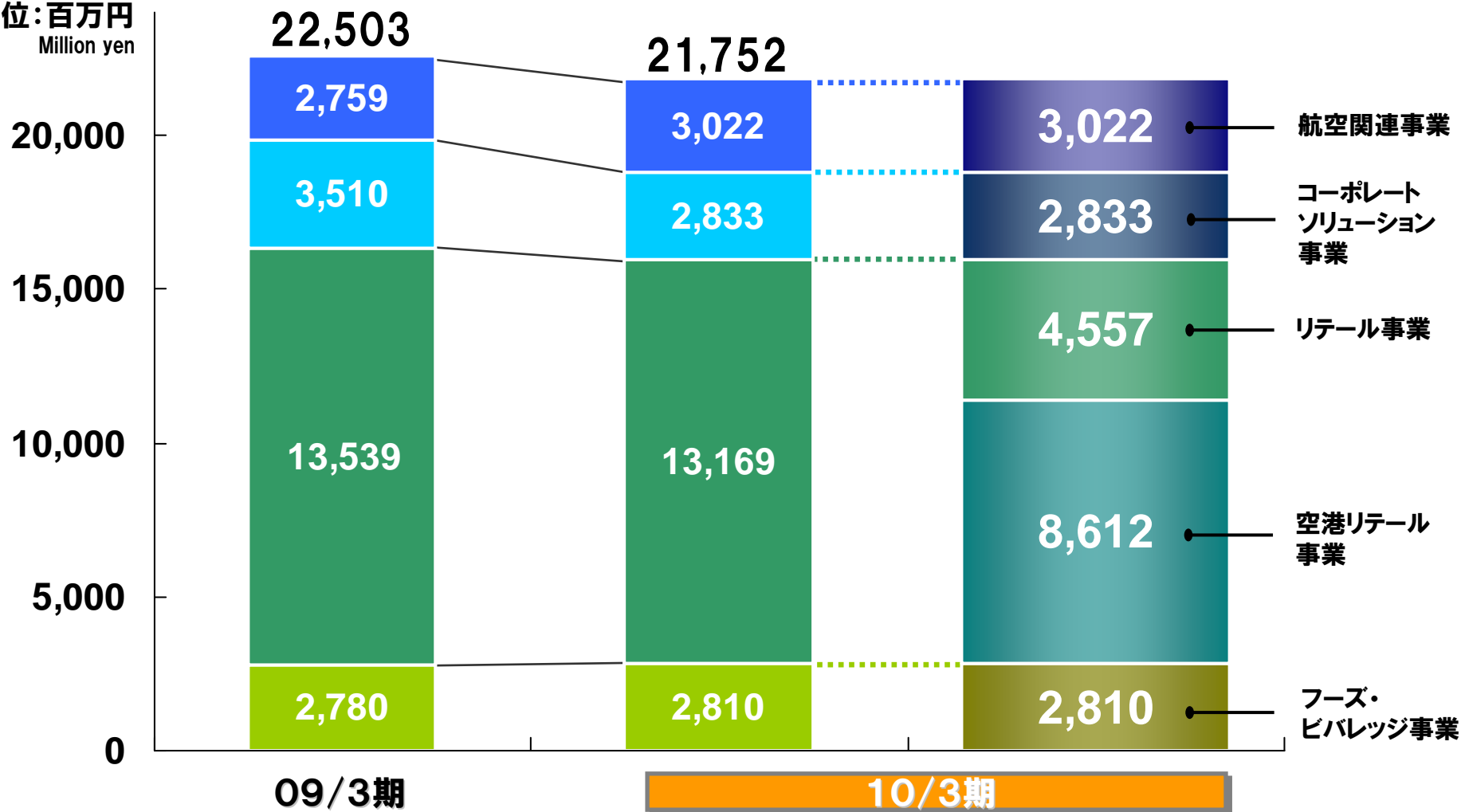
	売上高 Net Sales			売上総利益 Gross Profit		
	09年3月期 March 2009	10年3月期 March 2010	増減 Balance	09年3月期 March 2009	10年3月期 March 2010	増減 Balance
単位:百万円 Million yen						
航空関連 Aviation-Related	31,977	27,744	△4,233	2,759	3,022	+262
コーポレートソリューション Corporate Solutions	17,237	14,888	△2,348	3,510	2,833	△677
トラベルリテール Travel Retail	43,363	41,299	△2,063	13,539	13,169	△369
フーズ・ビバレッジ Food & Beverage	20,778	21,792	+1,014	2,780	2,810	+30
全社及び消去 Eliminations	△130	△164		△87	△84	
合計(連結) Total	113,225	105,561	△7,664	22,503	21,752	△751

2010年3月期 決算概要

サブセグメント別 売上総利益 *Gross Profit for Each Sub-Segment*

(内訳=セグメント間取引調整前)

単位:百万円
Million yen



航空関連

コーポレートソリューション

トラベルリテール

フーズ・ビバレッジ

2010年3月期 決算概要

サブセグメント別の営業概況(売上総利益)

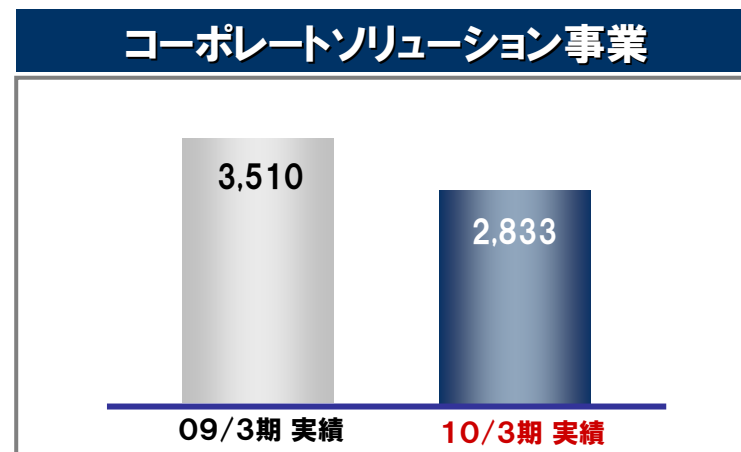
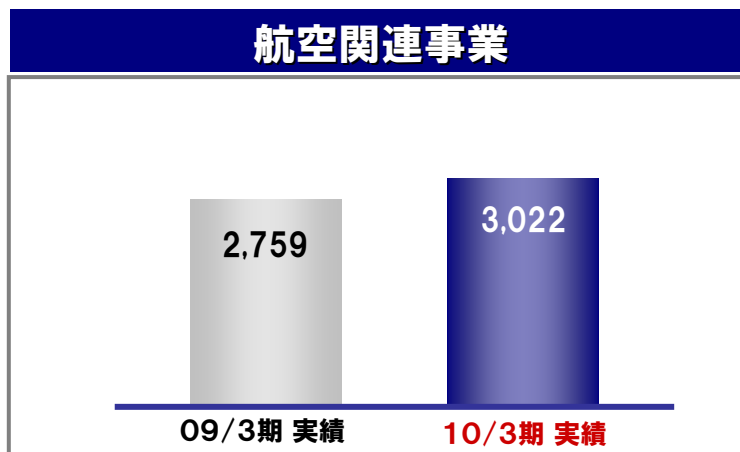
Performance by Operating Sub-Segment (Gross Profit)

対 前期

Compared with the previous period

	09年3月期 March 2009	10年3月期 March 2010	増 減 Balance	コメント Comment
コーポレート系 合計 《事業本部別の内訳》	6,270	5,856	△414	
航空関連事業	2,759	3,022	+262	航空機部品の販売は上半期の需要低迷が影響し前年を下回るが、航空関連分野における総合力を発揮し、空港関連施設の受注や地上特殊車両の販売など空港・地上機材関連が好調に推移し増益を確保
コーポレートソリューション事業	3,510	2,833	△677	印刷メディア関連は法人需要の減退を受けて減益。不動産関連は主力のサブリース事業は予定通り進捗するも前期に収益性の高い物件を販売している反動もあって減益

単位:百万円 Million yen



2010年3月期 決算概要

サブセグメント別の営業概況(売上総利益)

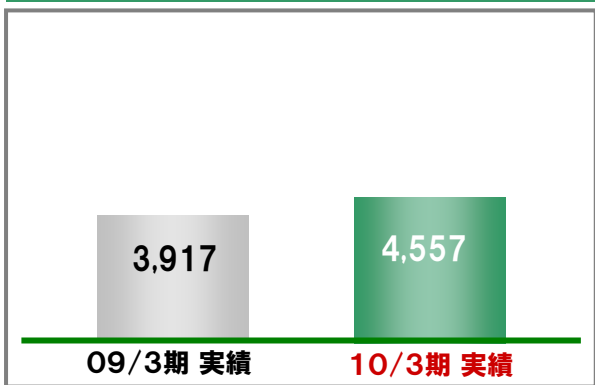
Performance by Operating Sub-Segment (Gross Profit)

対 前期
Compared with the previous period

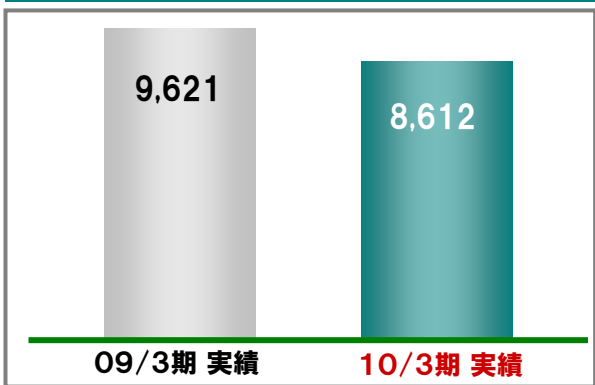
	09年3月期 March 2009	10年3月期 March 2010	増 減 Balance	コメント Comment
リテール系 合計	16,320	15,980	△339	
《事業本部別の内訳》				
リテール事業	3,917	4,557	+640	免税品関連では免税店向け卸売が拡大するも、国際線の旅客数減少を受けて減益。通販(既存)は消費意欲の減退や低価格志向の高まりを受けて減益。但し子会社連結フル寄与によりセグ合計では増益
空港リテール事業	9,621	8,612	△1,010	航空旅客数の減少と消費者の買え控え傾向により、免税店を含めた店舗関連全体で減益
フーズ・ビバレッジ事業	2,780	2,810	+30	ワイン事業がたな卸し在庫の評価減を計上し前年を下回るものの、農水産関連で冷凍水産物や青果物の輸入販売が好調に推移し、年度として過去最高の実績を収めたことなどにより増益

単位: 百万円 Million yen

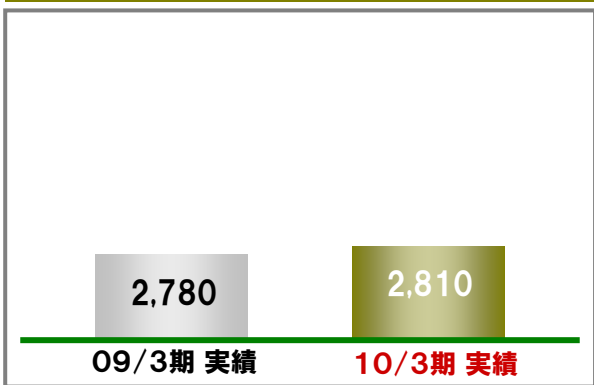
リテール事業



空港リテール事業



フーズ・ビバレッジ事業



事業構造改革と 新たな成長に向けた基礎固め

- 2010～2011年度への展望 -

代表取締役社長 田島 伸一

経営環境

- 世界景気は中国、ブラジル、インド等新興国がけん引役となり、リーマンショックから立ち直りつつある。世界経済の勢力図の変化
- 景気先行きの不透明感より消費者の買い控えと、低価格品志向による国内消費低迷とデフレの進行
- 20年後にはアジア太平洋地域が世界の航空旅客市場の41%を占める
(現在 32%:120万人/日、8300フライト/日) 2009年9月ボーイング社予測
- リーマンショック後、世界の航空会社の経営悪化。各社売上が13~29%落ち込んでいる。一方、ローコスト航空会社(LCC)が成長
- 2010年10月に羽田空港の第4滑走路使用開始(30万回→40万回)と成田空港の発着枠拡大(20万回→22万回)による航空旅客数の増加
- JALが事前調整のうえ会社更生法を適用し、企業再生支援機構により3年間での再生を目指す
- JALUXは、消費需要の減退やJALの旅客減等の影響を受けて売上高・売上総利益が減少
- 経営資源の集中と事業コストの抜本的な見直しが必要

事業構造改革の要点

事業構造改革の基本骨子

企業体質の強化 [事業コストの削減]

売上高の拡大が望めない市場環境化でも一定水準の利益を確保できる強靱な収益体質を確立することを目的に、固定費を中心に抜本的な事業コストの見直しに取り組む。また意思決定の迅速化と経営効率化を目的に大胆な組織の集約とスリム化を図る

重点事業の強化 [経営資源の集中]

当社の強みを生かせる事業分野に経営資源を集中し、事業競争力の強化と筋肉質な収益モデルへの変革を実現する。一方で収益性の低い事業については早期に撤退縮小を実施する



事業構造改革の取り組み結果 I

1 組織スリム化・人事施策

■ 希望退職者の募集
(10年3月末退職)

施策の内容

- 希望退職者の募集
募集人数:70-100名
- 店舗運営子会社への転籍
- その他

結果

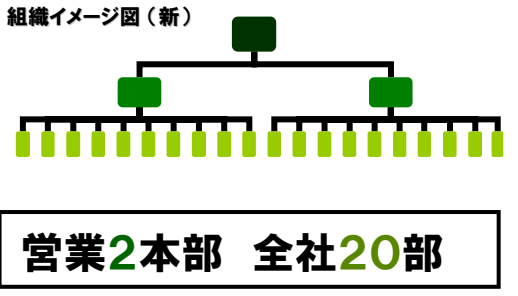
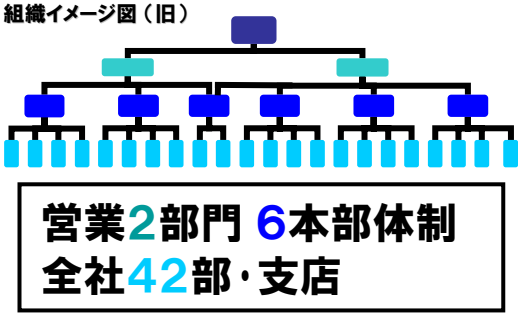
- 希望退職者の募集
応募者数:89名
- 店舗運営子会社への転籍

単体社員160名を削減
(全社員の23.5%に相当)

完了



■ 組織集約とフラット化



■ 役員数の削減

- 常勤役員 14名体制
[内訳]
取締役 7名
執行役員 7名

- 常勤役員7名体制へ






事業構造改革の取り組み結果 II

2 在庫圧縮・保有資産の売却・コスト削減

	施策の内容	結果	完了
■ たな卸在庫の圧縮	通販・ワイン在庫を 時価相当額に評価減 宝飾事業・コンテンツ等 事業撤退による在庫処分	▶ 本年3月末において 通販・ワイン在庫など △250百万円の評価減	<input checked="" type="checkbox"/>
■ 株式など保有資産 の売却	投資有価証券(上場/非上場) 不動産・役員保険 ゴルフ会員権の売却	▶ 投資有価証券 17銘柄売却済 不動産 1件売却済 役員保険 全契約解約 ゴルフ会員権 10件売却済	<input checked="" type="checkbox"/>
■ 本社オフィスの 移転	本社オフィス(JALビル)の 移転 [賃料は1/2に削減] オフィス面積を2/3に縮小	▶ 本年7月末に移転 年間賃料は現在の67%減	<input checked="" type="checkbox"/>

事業構造改革の取り組み結果III

3 収益力の拡大と収益構造の強化

	施策の内容	結果	完了
<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業領域・拠点の集約 	<p>低採算ビジネスから撤退 店舗/営業拠点の縮小</p>	<p>クリーニング・宝飾・ホテル 内装品など11事業から撤退</p> <p>保険・不動産・ワイン事業の 地方拠点を閉鎖、縮小を完了</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 重点事業の強化 	<p>専門ノウハウをもつ 航空・空港関連ビジネス</p> <p>優良顧客を有する リテール関連ビジネス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 航空・サービス事業本部 ■ リテール・F/B事業本部 <p>営業2本部体制に再編 資源の有効活用と営業強化</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 利益責任の明確化 コスト管理の徹底 	<p>部・事業毎の利益責任の 明確化と収益向上</p> <p>資産効率性の向上と財務 体質の改善</p>	<p>7月より空港店舗事業の 運営を連結子会社へ移管</p> <p>事業毎バランスシート経営 社内金利制度の徹底</p>	

2011年度に向けての展望

企業体質の強化	重点事業の強化	事業ポートフォリオの変革
<ul style="list-style-type: none">■ 組織・人員のスリム化■ 事業ストラクチャー見直し■ 利益責任の明確化 コスト管理の徹底	<ul style="list-style-type: none">■ 経営資源の再配分■ 事業領域の絞込み■ 戦略分野への重点投入	<ul style="list-style-type: none">■ JAL外ビジネスのさらなる拡大■ 資産効率の向上■ 財務体質の改善

新たな成長へ向けた事業構造改革の完遂

- 2010-2011年は次期中期への足場固め -

2011年度 連結経常利益 20億円

バランスのとれた事業基盤の再構築

新たな成長ステージの確立へ

JALUXグループ 事業展開の概要 -ビジネスアウトライン-

バランスのとれた安定的な収益基盤を構築

航空・サービス事業本部	リテール・F/B事業本部	連結会社
-------------	--------------	------

航空関連分野では蓄積されたノウハウ、事業ナレッジを通じてアジア展開を推進

保険事業では個人保険BPO事業に経営資源を傾注

トラベルリテール分野では事業領域の多角化とストラクチャーの見直しにより収益力改善

F/B分野は加工・卸事業を核に複合的なビジネスを展開

戦略子会社(店舗・通販・保険)を活用した専門性と事業採算性の両立

海外事業はアジア地域に注力

2012年3月期 連結経常利益 20億円

航空・サービス事業

航空関連サービスを各国航空会社及び関連業界に提供するグローバル企業となる。

- (1) **航空機部品** : アジアを中心とした海外展開及び重工業向け高付加価値ビジネスの拡大
- (2) **機械・資材** : アジア展開の加速化と鉄道・船舶など、航空以外の運輸マーケットへの本格参入
- (3) **保険事業** : 戦略子会社による個人保険代理店事業のBPO(アウトソーシング)展開と他社提携・買収による事業拡大
- (4) **不動産事業** : 省エネ・リサイクル等環境保全ビジネスの拡大及び指定管理者事業への進出

リテール・フーズビバレッジ事業

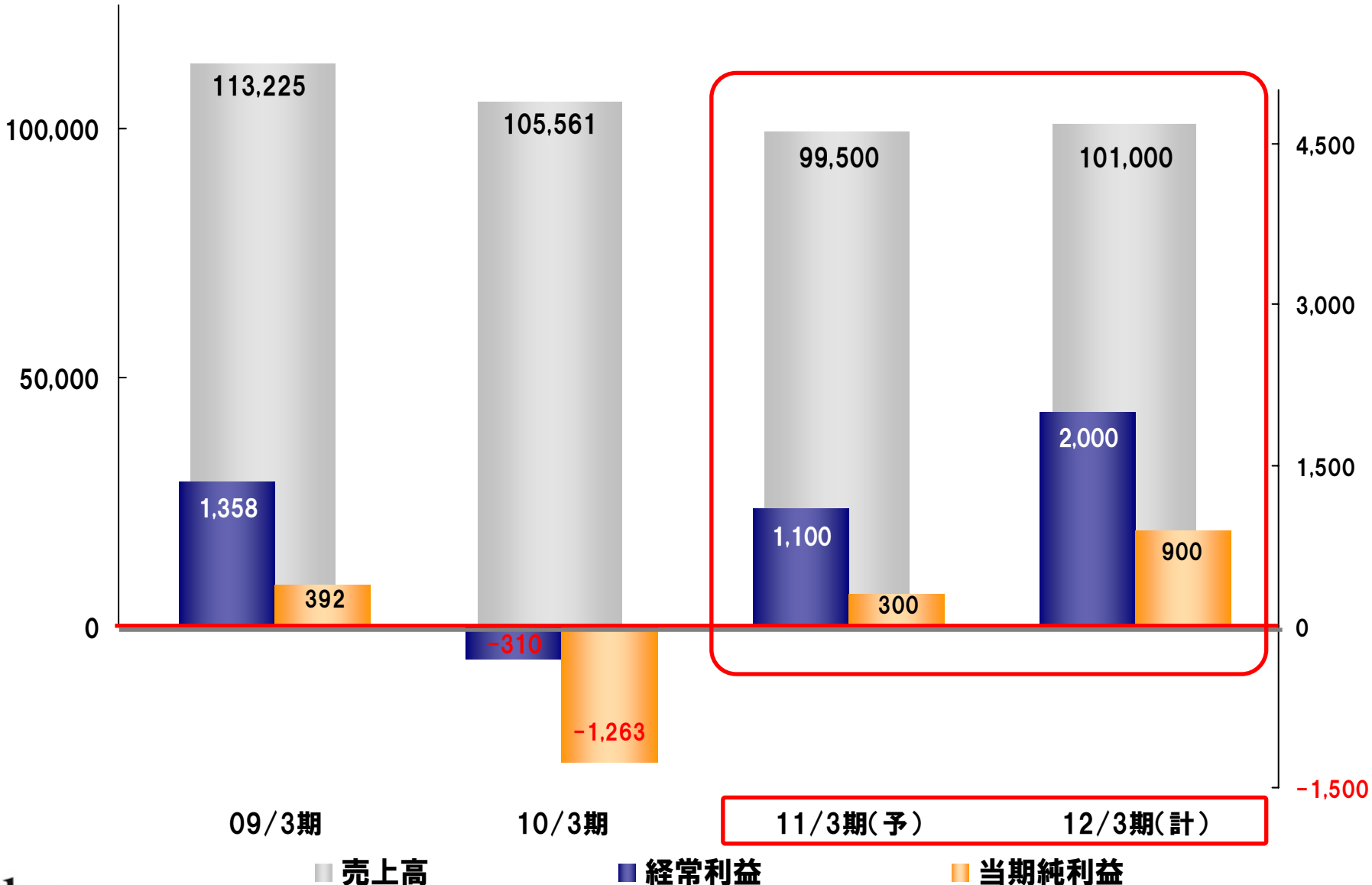
特定分野でバリューチェーンの商品・サービス開発、卸、リテールまで行える製造開発小売、卸小売を目指す。

- (1) 空港店舗事業 : コンサルティング活用による事業改革と運営主体を子会社へ移管
商品開発の強化・卸売ビジネスの拡充
- (2) 免税品事業 : 空港会社、海外機内販売事業会社等との業務提携(卸小売)
- (3) 通信販売事業 : 主婦の友ダイレクト社との協業強化と機能統合
- (4) ケータリング事業: 双日との業務提携による空弁の海外航空会社展開と
コンビニエンスストア等への販路拡大
- (5) 農水産事業 : 双日との業務提携による仕入強化と中国・ベトナム等での
食材加工による高付加価値商品の展開
- (6) ギフト事業 : ギフト事業者との業務提携による事業拡大と海外展開模索
- (7) ワイン事業 : エノテカ社との業務提携深耕による事業拡大とアジア展開

JALUXグループ 通期業績の見通し - 全社連結 -

(売上高:百万円)

(利益:百万円)



Jalux



幸せづくりのパートナー

当資料はホームページでもご覧いただけます。

This material is available on our website.

<http://www.jalux.com/ir>

株式会社JALUX 経営企画部

戦略企画・広報IRチーム

TEL:03-5460-7233 e-mail:ir@jalux.com